



HI-HAT STAND HS650

取扱説明書

このたびは、ヤマハ・ハイハットスタンドをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

製品の機能をよく理解していただき、末永くご愛用いただくために、本取扱説明書をよくお読みください。

安全へのこころがけ

ご使用前に、この「安全へのこころがけ」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ハイハットスタンドはドラム本体とシンバル、スティック等とともに使ったり、単体として使います。室内での置き場所や日常の取扱いについて、下記の注意を必ず守ってください。特に小さなお子様には、最初にご家族の方、または指導者から取扱い方法の指導をお願いいたします。

人身傷害の危険を防止するには ~以下の指示を必ず守ってください~

絵表示について

- ・この「安全へのこころがけ」は製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使って説明しています。
- ・絵表示の意味をよく理解してから、本文をお読みください。



注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。



禁止の行為を告げるものです。



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う危険の恐れがある内容を示しています。



固定用ネジはしっかり締め付けてください。



先端が鋭利な部分に触れる時は十分な注意をしてください。機能上先端部分が針状になっている部品があります。(ハイハットスタンドのストッパー等) けがの原因となるので取扱いには十分注意してください。また遊びの道具として使用しないでください。



注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、財産が損害を受ける危険の恐れがある内容を示しています。



フットボードの下や可動部に、手や足を入れないでください。挟まれてけがの原因となります。



ハイハットスタンドを単品で使う場合も取扱いには十分注意してください。



演奏中にゆるみを生じないように、各固定ボルト・調整ボルトはしっかりと締め付けてください。



よりスムーズなアクションを保持するために、可動部分には時々グリス等の油を塗布してください。

※ 製品の規格及び仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

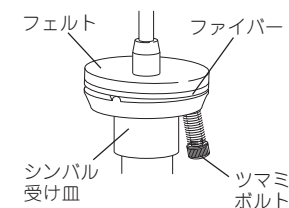
① シンバル受け皿

ボトムハイハットシンバルを取り付けるには、まずハイハットクラッチを取り外し、フェルトの上にボトムハイハットシンバルをのせます。

この時、シンバル受け皿の上にファイバーとフェルトが付いているのを確認してください。

シンバルの傾きは、受け皿下部にあるツمامボルトを回して調整してください。

● シンバル受け皿

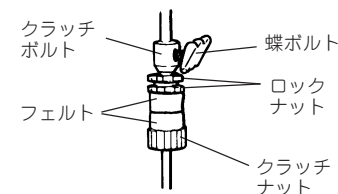


② ハイハットクラッチ

トップハイハットシンバルを取り付けるには、まず下側のクラッチナットを外して、フェルトとフェルトの間にトップシンバルをはさみます。次にクラッチナットを再度クラッチボルトにネジ込み、止まる所まで締めます。

フェルト上部のロックナットはトップハイハットシンバルの固定具合を調整します。ルーズな音にしたい場合はナットをフェルトから緩め、タイトな音にしたい場合は逆にナットをフェルトに締め付けます。決まりましたらロックナットをお互いにしっかりと締めます。

● ハイハットクラッチ



③ 位置決めストッパー

ハイハットシンバルの高さを決めたら、メモリーの為に位置決めストッパーを締付ベースの上で固定します。

演奏中に上パイプの高さをずれを防止するためにもドラムキーでしっかりと締めてください。

④ 連結棒

連結棒をフレームの孔に取り付けてフットボードをフレームに固定します。

⑤ ストッパー

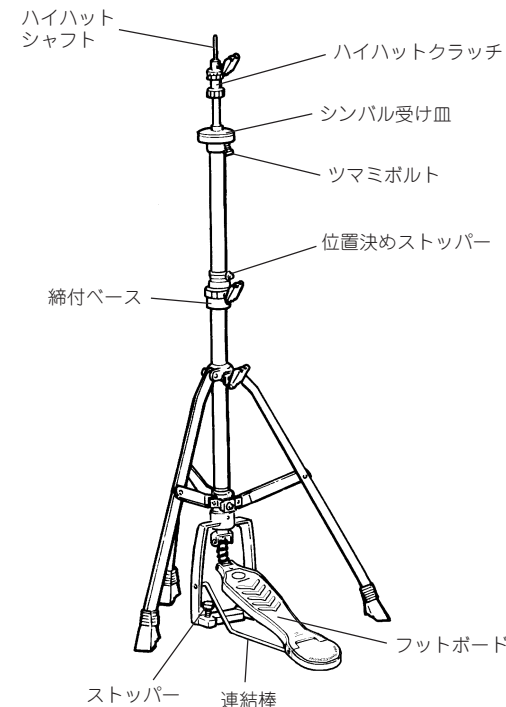
ハイハットスタンド全体が前進するのを防ぎます。

時計方向に回すと針が出ますので、必要な長さに調整してご使用ください。

注)

よりスムーズなアクションを保持するために、可動部分には時々グリス等の油を塗布してください。

又、締付ベース内にあるナイロンクラッチをむやみに空締めしますと、故障の原因となりますのでご注意ください。



ヤマハ株式会社

弦打楽器事業部 営業部 ギタードラム国内営業課
〒430-8650 浜松市中区浜町10-1 TEL. (053)460-2433